

大地沢青少年センター民間活力導入検討作業の中間報告について

大地沢青少年センターの民間活力導入について、事業者の関心や、導入に際し必要な条件を調査するため、事業者アンケート及びヒアリング調査を行いました。内容及び今後の予定は以下のとおりです。

1 アンケート調査について（郵送にて実施）

○調査の内容 : 大地沢の民間活力導入への関心や、参画に希望する条件など

○配布事業者 : 55の事業者に配布しました。

○返 信 数 : 24の事業者から返信をいただきました。

調査の結果、17の事業者の方が大地沢の民間活力導入に関心がある、との回答をいただきました。

2 ヒアリングの実施及びヒアリング項目

17の事業者のうち、センターの民間活力導入に関心があり、代表事業者として参画を希望する事業者や、類似事業の実績のある、11の事業者に対してヒアリングを行っております。ヒアリングはコンサルティング業務を委託している「株式会社創建 東京本社」が実施しております。

※ヒアリングの項目としては、

○施設の利用イメージ

○現在の施設の改善点や課題

○募集の条件（緩和したほうが良い点、規制したほうが良い点など）

などとなっています。

3 ヒアリングでの主な意見

- 事業内容 : ○本館の維持管理には、宿泊に対応できる事業者の参加が必要。
 - 周辺の観光施設や畑等を活用した体験プログラムの提案の検討ができる環境にある、など。
- 施設の活用 : ○施設内への車の乗り入れが必要。
 - 施設の活用は特定の事業に限定しない方がよい、など。
- 施設改修等 : ○施設の老朽化が想定されるため、基本的な施設の改修がない場合、事業参加は難しい。
 - 建物以外にも木道等が老朽化しているため修繕が必要である。
- 事業期間 : ○改修工事の期間と指定の期間は別とする。
 - 指定期間が5年は短すぎる。(10~15年程度必要。)
- 事業費 : ○主な利用客層を一般とするか、青少年とするかで事業内容が変わり、事業費も変動する。
 - 繁忙期と閑散期があるため、事業効果の得やすい期間や利用料金について事業者の提案となるとよい。
- 募集の評価 : ○事業地、事業規模で事業者を評価しない方が参加しやすい事業者もある。

これらの意見がヒアリングで出されました。

上記のヒアリングにより得られた事業者の意見も参考に、行政主導に傾きすぎないような事業展開や施設の利便性の向上を見据えての既存の規制を緩和するなどの検討を行います。その上で、民間活力導入事業への参加条件を作成していきます。

加えて現状の収支内容について精査・整理を行い、二次ヒアリングを実施し、事業者の参加可能性を調査していく予定です。